

校章



デザイン 相田 盛二

由来

昔、この辺りの丘の上には、根は1つであるが3本の幹に分かれた松があった。「三本松」といえば、その辺りの場所を指し、親しみを込めて呼んでいた。さらにその近くには、一本松と呼ばれる大きな松もあった。これらの松が常緑でめでたいことにちなみ、基調をグリーンとした校章になった。

校章の上部は、小学校の「小」と羽ばたく鳥を表している。また、子どもたちが元気に育つようにという願いをこめ、いつも緑の葉をつけている三本松も表している。

三本の線は、校区の丘のつらなりと子ども・父母・教師、そして川崎市の「川」を表している。さらに知・徳・体の調和のとれた子どもであってほしいという願いがこめられている。